



クールジャパン政策について

平成30年10月16日

経済産業省

クールジャパン政策の転換

2012年：800万人

2016年：2400万人

2020年：4000万人

2030年：6000万人

訪日外国人旅行者数

「海外遠征型」

日本ブーム創出・現地で稼ぐ

日本の魅力の効果的発信

現地で稼ぐためのプラットフォーム構築

- ⌘ クールジャパン機構による海外展開企業へのリスクマネーの供給
- ⌘ JETROや日本政策金融公庫等による海外販路開拓支援

重点化

「ホームゲーム型」

訪日外国人による日本での消費

+

母国での継続的な需要創出

日本に呼び込み
地域での消費を促す

- ⌘ コンテンツや食等の情報発信による観光客の誘致
- ⌘ クールジャパン資源による観光消費
- ⌘ 外国人バイヤーのビジネスインバウンド強化

インバウンド型クールジャパン政策の推進

ゴールデンルート

観光客数は多く、限界に近い

観光客分散、地域の
需要・消費の拡大

リゾート地

観光産業で成長可能

ワールドクラスリゾート化・
高付加価値化

地方観光地

観光産業のみでは厳しい

地域のブランディング・
稼ぐ地域への変革

非観光地

観光産業成立にはアイデアが必要

新しい発想・視点の創出

滞在中の消費拡大、継続的アウトバウンドに繋げるため、観光地において日本の魅力を更に感じられる環境の整備

- ・ 飲食・購買・娯楽等の消費を促す環境整備
- ・ DMO・DMC等と外部人材・組織の連携による地域のブランド化、商材等の磨きあげ・重点化
- ・ 新たな事業展開を生み出す観光産業の人材育成

日本発のコンテンツの海外展開

- 1 コンテンツの字幕・吹き替え等の現地化（ローカライズ）、国際見本市への出展等のプロモーションの支援により、日本発のコンテンツの海外展開を促進。
- 1 海外における日本発のコンテンツの認知度向上を通じて、日本ブーム創出にも寄与。インバウンドの促進を図る。

これまでの事業実績

採択件数
6,591件
ローカライズ例



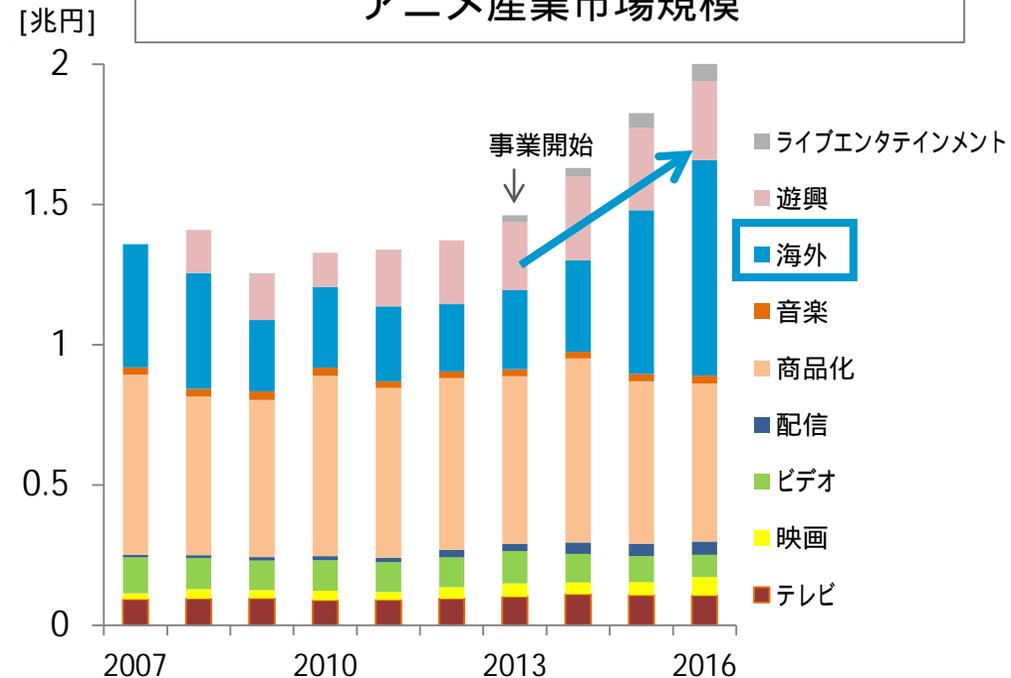
『ポケットモンスターXY&Z』
発信国：韓国
©1997 Nintendo, Creatures, GAME FREAK, TV Tokyo, ShoPro, JR Kikaku.
©Pokémon.
Pokémon Nintendo

新規海外展開
542事業者
プロモーション例



アメリカで開催された「J-POP SUMMIT」にてアニメ「心が叫びたがってるんだ。」と秩父地域企業の共同出展を支援

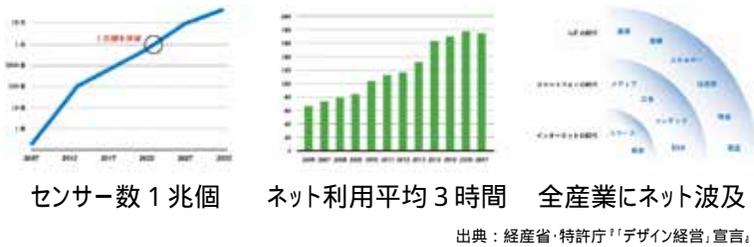
アニメ産業市場規模



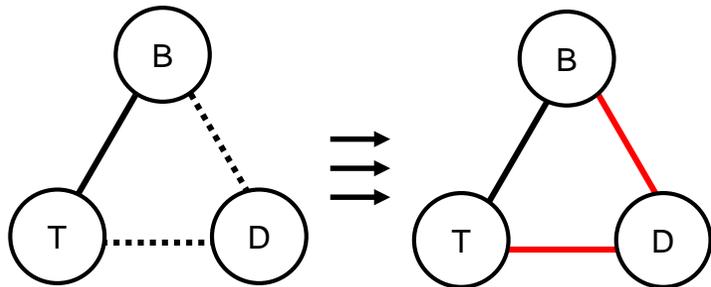
高度デザイン人材育成の在り方に関する調査研究（30年度）

- 1 第四次産業革命下において、あらゆる製品・サービスがネットワークに接続され、企業と顧客の関係性が持続的なものに変化したことにより、**顧客体験の価値を左右するデザインの重要性**が高まっている。
- 1 企業のデザイン力の向上を図る上では、**デザイン(D)のスキルと、ビジネス(B)、テクノロジー(T)のスキルが結合した「高度デザイン人材」**の存在が重要だが、現状では十分な育成ができていない。
- 1 **「高度デザイン人材」の具体像を類型化し、各人材に求められるマインドやスキル、カリキュラム等をガイドラインとしてまとめ、産業界及び大学等における高度デザイン人材の育成（カリキュラム編成、授業科目開設等）を促進。**

< ネットとデータが全てを飲み込む時代 >



< 「デザイン」と「ビジネス、テクノロジー」の結合 >



デザイン(D)のスキルと、ビジネス(B)、テクノロジー(T)のスキルの結合が重要 BD型、TD型、BTD型のデザイン人材を育成

< 調査事業の主な内容 >

1) 研究会の設置、運営

有識者を委員とする研究会（仮称：高度デザイン人材育成研究会）を設置、運営

2) 公開情報調査

- ・ 国内外の企業・大学等における先進的なカリキュラム等事例
- ・ 国内外における大学間の先進的な連携・ネットワーク構築事例
- ・ 国内外におけるデザイン分野の先進的な産学連携事例

3) 有識者へのヒアリング調査

- ・ 高度デザイン人材の類型（例えば、UXデザイナー、サービスデザイナー等）
- ・ 各高度デザイン人材に求められるマインド、スキル、組織内での役割等
- ・ 各高度デザイン人材の育成に有効なカリキュラム、経験等

4) ガイドラインの作成

< ガイドラインの構成例 >

高度デザイン人材育成の背景、理念

高度デザイン人材の具体像

各高度デザイン人材に求められるマインド、スキル、組織内での役割

各高度デザイン人材を育成するためのカリキュラム等

ローカルクールジャパン政策について（時系列順）

個社の事業を支援するとともに全体をまとめて
1つのローカルクールジャパンとしてブランディング及びPRを実施

平成26年



平成26年 28年（27補）
モザン プロジェクト

事務局：ロフトワーク

アウトバウンド

平成27年

日本の優れたものを海外に発信していくために
「中小企業×プロジェクトチーム」で海外販路開拓を行うことを支援

平成28年



平成28年
トラベル マイン ジャパン 事務局：リヴァンプ

インバウンド

訪日外国人の消費拡大のために「DMO等×プロジェクトチーム」で訪日外国人の誘客を図る事業を支援

平成29年

BrandLand: JAPAN 平成29年
ブランドランドジャパン

事務局：凸版印刷

アウトバウンド
&
インバウンド

日本らしい商材やサービスの海外需要獲得を目指す
「中小企業等×プロジェクトチーム」で海外需要獲得を図る事業を支援

日経とのコラボ（未来ショッピング・PR事業）

平成30年



平成27年
ザ ワンダー ファイブハンドレッド

事務局：リヴァンプ・凸版印刷

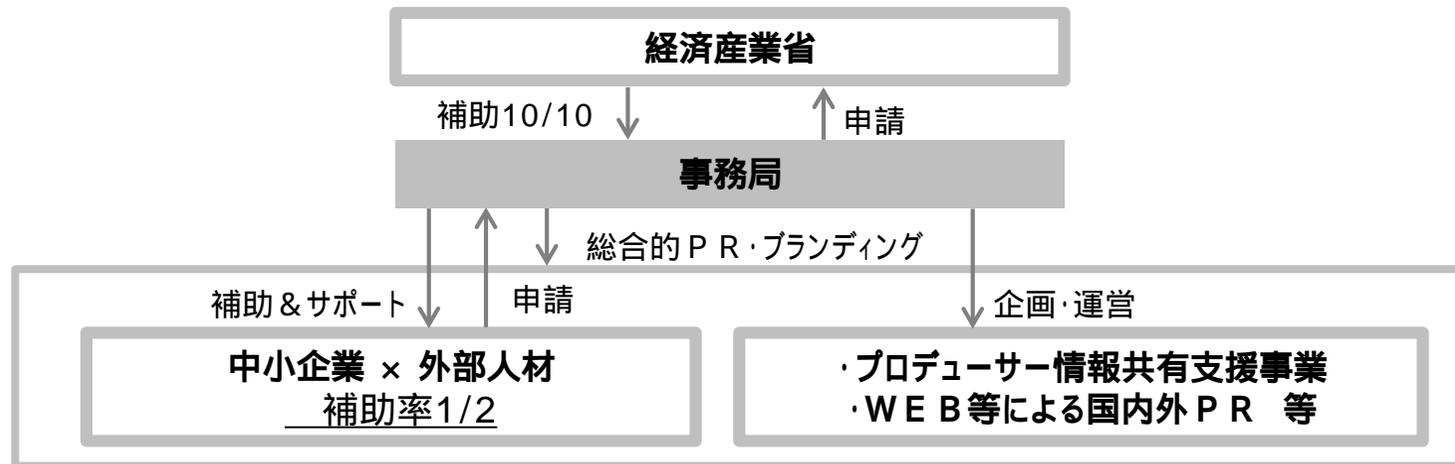
“世界にまだ知られていない、日本が誇るべき
すぐれた地方産品”をプロデューサーにより発掘。
500商材をまとめてThe Wonder 500として
ブランディングし、PR。

平成28年からは民間事業として自立

事務局：凸版印刷・リヴァンプ

ローカルクールジャパン（平成30年度 専門家招聘型プロデュース支援事業）

- U 平成26年度からJAPANブランド等プロデュース支援事業として実施。
- U 日本の技術や生活文化の特色を生かした魅力ある商材やサービスを有する中小企業であっても、単独で海外販路開拓や顧客を獲得していくには様々なハードルがある。
- U そこで、自社には足りない能力をもつプロデューサー、デザイナー等の外部人材を活用し、JAPANブランドの海外販路開拓等を目指すプロジェクトを支援。（事務局を通じて採択したプロジェクトに対して経費の一部（外部人材にかかる謝金・旅費及び海外プロモーションにかかる経費（事業者の旅費を除く））を補助（補助率1/2）、プロジェクト間の連携促進等によるネットワーク構築、WEBやイベントを通じた国内外へのPR）



プロデュース活動支援（補助率1/2）

- I 事務局を通じ、プロデューサー等外部人材にかかる謝金・旅費及び海外プロモーションにかかる経費（事業者の旅費を除く）の一部を補助。

プロデューサー情報共有支援事業

- I 採択プロジェクトが一堂に会して、プロジェクト間の連携や海外展開に役立つアドバイザーとの交流等を促進。

総合的PR・ブランディング

- I WEBやイベントを通じて、採択プロジェクト及び本事業を国内外にPR。

平成30年度 採択プロジェクト（14件）

秋田県



YAMAMO “I.L.A. (Industry Loves Art)” PROJECT
産業は芸術に恋をする

群馬県



J-Konjac
国産こんにゃくを北米へ

東京都



日本刀の聖地を巡る
SAMURAIツアー造成

新潟県



苔のシートを中心とした
「JAPAN GREEN」の海外展開

石川県



新素材トライタンを日本の匠の技
で更なる付加価値で北米市場に

愛知県



「独自の乳酸菌入り石鹸×浮世絵
パッケージ」アジア市場を開拓

愛知県



快適な日本製婦人靴で、
アジアのミセス市場を開拓

愛知県



創業150年 和菓子屋 三寿園、
“豊明から世界へ”

愛知県



訪日外国人を商店街に呼び込む
「円頓寺商店街の下町暮らし体験
プログラム」

三重県



best pot海外展開

滋賀県



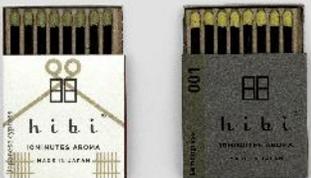
日本の原風景を旅するサイクル
ツーリズム事業

大阪府



一本の線で作る新空間デザイン

兵庫県



“hibi 10MINUTES AROMA”
1国1代理店体制確立に向けた代理店開拓

長崎県



AKERU PROJECTで欧州に
チャレンジ

今年度採択事業の事業内訳

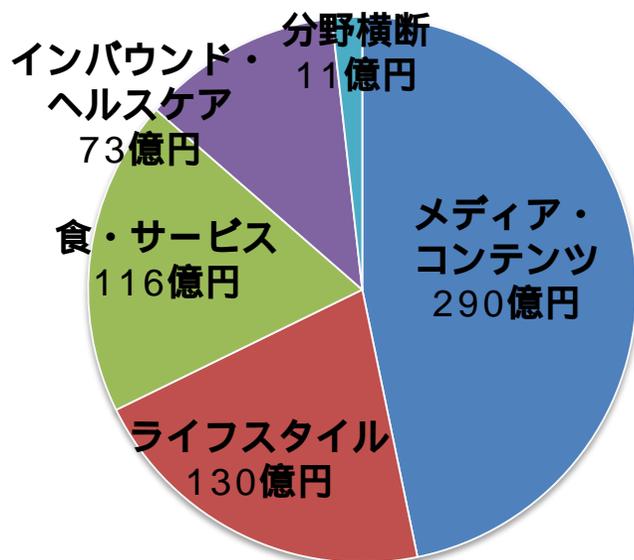
ものづくり	:	8件
食	:	3件
インバウンド	:	4件（事業内容ベースのため重複あり）

(参考) その他主要なクールジャパン関係予算

- 1 インバウンド型クールジャパン推進事業 (地域の魅力向上等によるインバウンド観光消費の促進及びビジネスインバウンド加速に向けた環境整備) 【平成29年度補正予算額58.5億円】
- 1 コンテンツ産業新展開強化事業 (デジタル技術を活用したクリエイターへの新たな金流の創出・日本のコンテンツの発信力強化等による海外展開) 【平成30年度予算額4.3億円】
- 1 伝統工芸品産業振興補助金 (産地と国内外のバイヤーや消費者とのネットワーク構築、海外への情報発信等の補助) 【平成30年度予算額7億円】
- 1 株式会社海外需要開拓支援機構 (クールジャパン機構) による出資 【平成30年度予算額135億円】

クールジャパン機構によるこれまでの支援決定額 合計約620億円(29件)

<分野別支援決定額>



<地域別支援決定額>

